

報道関係者各位

2020年7月25日

ヤナセ、メルセデス・ベンツ新車累計販売 100万台を達成

— メルセデスと歩んだ68年。日本の輸入車市場を築く —

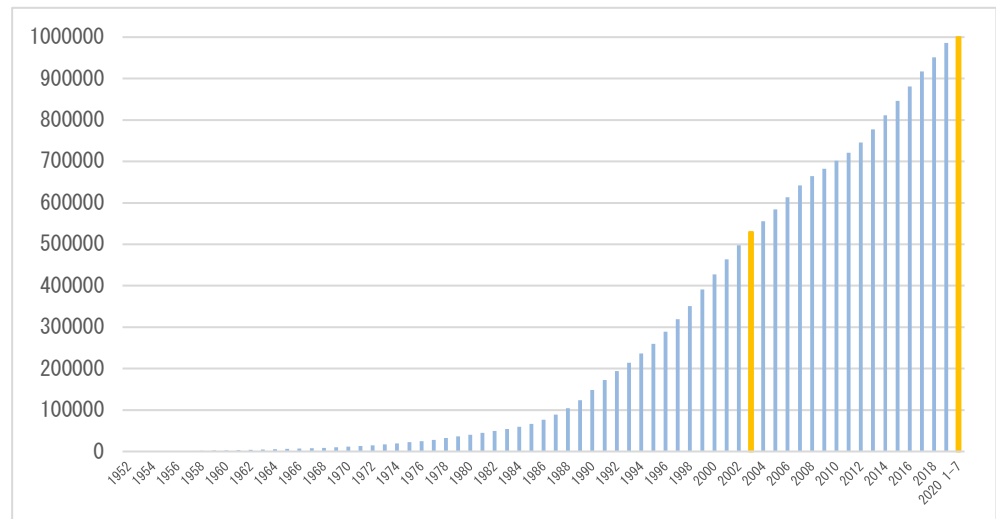
株式会社ヤナセ(社長:吉田 多孝)のメルセデス・ベンツ販売実績が、本年7月22日で1,000,000台を達成しました。

これまでの経緯は、1万台の到達が1969年、以降、10万台:1988年、30万台:1997年、50万台:2003年、80万台:2014年です。

ヤナセは、1952(昭和27)年にメルセデス・ベンツの販売を開始。1954(昭和29)年に輸入権を獲得しました。その後、輸入権をメーカー日本法人に移管して販売業に特化。現在、メルセデス・ベンツの正規販売店として、全国104店舗の新車販売拠点を展開しています。

【販売台数の推移】

158台	1952年
1万台	1969年
10万台	1988年
20万台	1993年
30万台	1997年
40万台	2000年
50万台	2003年
60万台	2006年
70万台	2010年
80万台	2014年
90万台	2017年
100万台	2020年



【ヤナセとメルセデス・ベンツとの歴史】

ヤナセは1915(大正4)年に創業。第二次世界大戦以前はメルセデス・ベンツの指定工場に認定されました。その実績から、1952(昭和27)年5月、ダイムラー・ベンツ社から当時のウエスタン自動車株*がメルセデス・ベンツの販売権を獲得。ウエスタン自動車が授権会社となり、メルセデス・ベンツの販売を開始しました。発注の第1号車は『170V』、『170S』、『220』、『300』各1台でした。

1954(昭和29)年4月、ヤナセグループにダイムラー・ベンツ社全製品の日本総代理権が承認されました。さらに1987(昭和62)年10月1日から、ヤナセがAMG社と合併で設立したエーエムジー・ジャパン株が日本でのAMG製品(車両、部品)の輸入、販売、サービスを開始しました。

その後、1986(昭和61)年1月、メルセデス・ベンツ日本株が設立、翌年1月にメルセデス・ベンツの輸入権を同社に移管。ヤナセはメルセデス・ベンツと部品のディストリビューションを引き継ぎ、新車整備や物流、部品の供給業務は両社の合併会社に移管しました。また、AMG社のダイムラー・クライスラー社(当時)の子会社化に伴い、2001(平成13)年1月、AMGの輸入権を日本現地法人に移管。2006(平成18)年10月から、メルセデス・ベンツのディーラー専門体制に移行しました。

*1950(昭和25)年12月、ヤナセが100%出資で設立した子会社

ヤナセは、「クルマはつくりたくない。クルマのある人生をつくらせている。」をCI(コーポレート・アイデンティティ)スローガンとして、今後もメルセデス・ベンツをはじめ、輸入車を愛するお客さまの安心・安全で快適なカーライフの実現を目指し、より充実したサービスの提供と体制構築に努めてまいります。



1952(昭和27)年に初輸入された
メルセデス・ベンツ『170V』



1956(昭和31)年、
メルセデス・ベンツ『300 SL』の展示会風景



1958(昭和33)年、
建設中の東京タワーとメルセデス・ベンツ『W120』



1963(昭和38)年、吉田 茂 元首相にご納車した
メルセデス・ベンツ『300 SE long』